

呼吸器外科・心臓血管外科に通院歴のある患者さんとご家族の皆様へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療後の残余検体と診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 肺・血管系における SARS-CoV-2 細胞侵入機構関連タンパク発現と臨床的背景因子の関連性に関する分析的研究

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学附属病院・呼吸器外科 講師 齊藤 朋人

《研究の目的》 肺・血管系における SARS-CoV-2（いわゆる新型コロナウイルス）細胞侵入機構関連タンパクの発現量が、年齢・併存症・喫煙歴・内服歴など臨床的背景因子とどのように関連しているかを明らかにする事

《研究期間》 研究許可日～2023年12月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

2006年1月1日から2018年12月31日までの間に関西医科大学附属病院において各種疾患（気胸・嚢胞性肺疾患、肺癌、冠動脈バイパス手術、大動脈疾患手術）に対し手術を受けた患者さんのうち、手術で摘出した肺（嚢胞性病変や肺癌を除く部分）または、血管系（大動脈切除標本または血管グラフト）の病理診断後残余組織が十分確保されており、本研究に使用可能である方

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別、生年月、手術年月、手術時年齢、身長、体重、ECOG Performance Status (パフォーマンスステータス ※全身状態の指標の一つ)、既往歴・併存疾患（呼吸器併存症含む。主に糖尿病、慢性腎臓病など）、呼吸機能、喫煙歴、手術に係る病名、肺癌の場合は TNM 分類に関する情報、肺癌に対する術前療法、内服薬（降圧薬など）、手術術式、手術時間、術中同種輸血の有無など。  
試料：手術で摘出した肺（嚢胞性病変や肺癌を除く部分）または、血管系（大動脈切除標本または血管グラフト）の病理診断後残余組織

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

お預かりした診療情報や検体等には匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

\*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学附属病院 呼吸器外科 講師 齊藤 朋人

大阪府枚方市新町 2-3-1

電話 072-804-0101 (代表) FAX 072-804-0150